資料５

令和７年度（2025 年度）日高振興局家畜伝染病防疫演習　実施結果概要

〇日　時：令和７年（2025 年）９月 19 日（金）13:30～16:00
〇場　所：日高振興局４階講堂、駐車場
〇出席者：30 名
〇内　容
１　開会
２　挨拶　日高振興局産業振興部長
・令和６年シーズン（R6.10～R7.5）の家きん飼養農場における高病原性鳥インフルエンザについては、北海道２例を含む全国で 51 例が発生。
・海外悪性伝染病は、いつ、どこから進入してくるかわからないものであり、発生した場合には、関連産業はもとより、道民生活にも甚大な影響を及ぼすこととなる。
・本日は、万が一発生した際、防疫作業には家畜飼養者はもとより道職員をはじめ、地域総動員で迅速に対応する必要があるため渡り鳥の季節を迎える前に、防疫演習を実施。
・限られた時間ではあるが、緊張感を持って演習に望んでいただくようお願い。

３　机上説明
（１）「高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫対応」
説明：日高家畜保健衛生所
・鳥インフルエンザは世界的に発生しており、日本国内において、Ｒ６シーズンは 51 事例が発生、野鳥では頻繁に発生している。
・渡り鳥の時期に発生することが多く、北海道だと 10 月と４月が渡りのピークになるが、温暖化などの影響で今後、北海道のピークがズレる可能性もありうる。

（２）「防疫衣の着衣について」
説明：農務課
・今回は実際に外に出て、農場の防疫ラインに見立てたテントで長靴の履き替えを行うため、長靴を履く以外の着用を実施。

４　演習
・駐車場に設置した農場の防疫ラインに見立てたテントへ移動。
・テント場で長靴へ履き替えとガムテープで目張りを実施。

（１）現地説明・実演「動力噴霧機の使用方法」
説明：日高家畜保健衛生所
・動力噴霧器の稼働、噴霧の仕方、停止の一連の流れを実演、その後、参加者全員が実施。（実際に参加者の長靴に噴霧）

（２）「防疫衣の脱衣について」

説明：農務課

・目には見えないが、農場側に入ったら全身にウイルスが付着しているので、外側を素手で触れないように脱衣を行うことについて実演、実施。

【演習風景】

―以上―